

# 27年6月分 プレカットの荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成27年6月1日～ 27年6月10日

## 2. 調査実施方法

全国のプレカット工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
6月分の回答企業数は11社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### (1) プレカット加工用部材の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		27/6月	7月	8月
仕入 動向	国産材製材品	△ 8.3	0.0	8.3
	外材製材品	0.0	△ 8.3	0.0
	構造用集成材	△ 10.0	10.0	20.0
消費 動向	国産材製材品	△ 33.3	△ 8.3	0.0
	外材製材品	△ 8.3	0.0	8.3
	構造用集成材	△ 10.0	10.0	20.0
在庫 動向	国産材製材品	△ 16.7	△ 8.3	△ 8.3
	外材製材品	△ 16.7	△ 16.7	△ 8.3
	構造用集成材	△ 10.0	0.0	10.0

・プレカット加工部材の仕入は、国産材は6月の減少、7月の横ばい、8月の増加、外材は6月の横ばい、7月の減少が8月は横ばい、構造用は6月の減少が7月、8月は増加。  
・プレカット加工部材の消費は、国産材は6月、7月の減少が8月は横ばい、外材は6月の減少、7月の横ばい、8月の増加、構造用は6月の減少が7月、8月は増加。  
・プレカット加工部材の在庫は、国産材及び外材共に3ヵ月連続して減少、構造用は6月の減少が7月横ばい、8月は増加。

### (2) プレカット工場受注動向 Weight. D. I.

品目	27/6月	7月	8月
受注	8.3	16.7	0.0
加工	16.7	16.7	0.0
受注残	0.0	0.0	8.3

・プレカットの工場の受注及び加工は6月、7月の増加が、8月は横ばい、受注残は6月、7月の横ばいが8月は増加。

## モニターからのコメント

### (加工用部材荷動き)

- ・入手順調、消費量増加、在庫は増加で推移。
- ・国産材は弱含み。外材は底値辺り。集成材はまだ弱含み。米マツKD材の一部に不足感あり。消費は、5月は低調だったが、6月以降は生産量が回復し、7月末がピークになりそう。在庫は、6月末には微増だが、7月、8月は横ばいで9月末がピークの在庫量になる見通し。市況変動があれば早まることもあり。
- ・仕入、消費は、梅雨の関係で上棟式が梅雨明け～盆前に集中しそうなので6月～7月中旬まで減少の予定。
- ・需要減のため仕入控えている。

### (受注動向)

- ・加工量増加で残業発生。
- ・荷動きは少しずつ良くなっており、見積もりが増え続けている。7月がピークで8月一度減少。
- ・受注は、梅雨の関係で上棟式が梅雨明け～盆前に集中しそうなので6月～7月中旬まで減少の予定。
- ・5月連休以降の仕事激減。